

2025年一番売れた新人作家！

2026年上半期ベストセラー「文庫」部門で1位を獲得※！（※日販調べ）
第23回『このミステリーがすごい！』大賞・文庫グランプリ受賞作『一次元の挿し木』
連続ドラマ化決定!! 読売テレビ・日本テレビ系で7月より放送スタート！



『一次元の挿し木』
発売日：2025年2月5日
定価：900円（税込）

株式会社宝島社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：関川誠）が主催する、第23回『このミステリーがすごい！』大賞で「文庫グランプリ」を受賞した『一次元の挿し木』が、ドラマ化されることが決定しました。2026年7月5日（日）より読売テレビ・日本テレビ系にて、よる10:30から（※一部地域を除く）放送開始です。本作は、累計65万部を突破しており、待望の実写化となります。

物語は、200年前の人骨のDNAが4年前に失踪した妹のものと同じしたところから始まります。選考委員からは「謎の牽引力、ストーリーの面白さは、今回これがダントツ」「謎の散らばせ方、話の運び方も上手く、最後までぐいぐい読ませる。文章も上手い」「スケールが大きい陰謀劇であり、成長小説としての面白さも備えた作品。広げた風呂敷をきちんと畳み、物語の幕を閉じる技量に、自信を持って推す」と高く評価されました。「BUN-1グランプリ2025」グランプリや2026年上半期ベストセラー「文庫」部門で1位を獲得（※）するなど、昨年の発売時から圧倒的な人気を博しています。（※）日販調べ

『このミステリーがすごい！』大賞は、ミステリー&エンターテインメント作家・作品の発掘・育成を目的に2002年に創設した新人賞です。これまで、第153回

直木賞受賞者の東山彰良氏や、累計1080万部突破の「チーム・バチスタの栄光」シリーズの海堂尊氏、音楽ミステリー『さよならドビュッシー』で知られる中山七里氏などの作家を輩出してきました。さらに大賞のみならず、同賞・文庫グランプリを受賞したくわがきあゆ氏『レモンと殺人鬼』は30万部、四島祐之介氏『アナヅラさま』は今年2月に発売してから3カ月で12万部を突破するなど、ベストセラー作品が多く生まれています。

宝島社はこれからも、新しい作家・作品を発掘・育成し、業界の活性化に寄与してまいります。

【あらすじ】

ヒマラヤ山中で発掘された200年前の人骨。遺伝子学を学ぶ大学院生の悠がDNA鑑定にかけると、4年前に失踪し、行方不明になった義理の妹のものと完全一致した。不可解な鑑定結果に戸惑うなか、関係者たちが次々と殺害され、研究室からは古人骨が盗まれた。失踪した義理の妹の生死と、DNA一致の謎とは……。真相を追う悠は、予測不能な陰謀へと巻き込まれることに……。

【ドラマ『一次元の挿し木』概要】

2026年7月5日（日）よる10:30より、読売テレビ・日本テレビ系にて放送開始。

〈スタッフ〉脚本：高田亮、清水匡 / 監督：城定秀夫、頃安祐良、日高貴士

プロデューサー：中山喬詞、安部祐真、清家優輝、岡田健人

〈キャスト〉山田涼介 白石聖 木戸大聖 土居志央梨 和田正人 笠原秀幸 猪塚健太 小橋めぐみ 藤井美菜 田畑志真 / 堀田真由 / 松下由樹 吉原光夫 正名僕蔵 / 小手伸也 鈴木保奈美 佐々木蔵之介

■中山喬詞プロデューサー（読売テレビ）コメント

僕自身見るのも作るのも大好きなミステリー。とにかくゾクゾク、ワクワクするような相関図にしたい。見てくださる方々が、“誰が味方で、誰が敵なのか”全く予想できないようにしたい。常々そう思っています。それぞれが抱える謎と秘密を考察しながら、見ていただけたら幸いです。驚愕の結末が待つ謎解きに、ぜひ挑んでみてください。

■七瀬悠役：山田涼介さん コメント

オファーを頂いてから小説を読ませて頂いて、本当に次の展開が全く見えないミステリーだと感じました。今年33歳になりましたが、「これまでの人生でいろんな人と出会いいろんなことを吸収して、インプット・アウトプットしてきた山田涼介が、この七瀬悠を演じたらどんな風になるんだろう…」という、自分自身への探求心を読んだ時に感じて、このオファーを受けさせて頂くことを決めました。

自分の内にしかなかった世界が、ここまで多くの方に共有され、また映像という新たな次元で生まれ変わろうとしていることは、自宅でもひとり、誰にも打ち明けずに作品を書いていた頃を思うと、感慨深くもあり、どこか怖い気持ちもあります。しかし、僕が描きたい世界はまだ沢山あります。これからも応援よろしくお願いします。



【著者・松下龍之介(まつした りゅうのすけ) プロフィール】

1991年4月生まれ。東京都江戸川区出身。茨城県牛久市在住。千葉工業大学大学院工学研究科修士課程を修了。現在は機械システム事業を扱う会社で、火力発電所や製鉄所向けの高圧ポンプの設計や技術提案に携わっている。

★著者取材可能です！